

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.232

毎月1日発行

9月号

ゆるる 月刊

杜の伝言板



きのこ

- ～5年間の歩み～『被災者支援から地域支援へ』大森 美和(NPO法人生活支援プロジェクトK)
- 健康で安全な消費生活を守るために 若狭 久美子(NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット)
- ゆるるのインターン生がリポートする“NPOで高校生の夏ボラ体験” 高橋 実希

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 公益社団法人日本てんかん協会宮城県支部

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



～5年間の歩み～ 『被災者支援から地域支援へ』

寄稿



大森 美和

NPO法人生活支援プロジェクトK
コーディネーター

NPO法人生活支援プロジェクトKは、二〇一一年三月十一日の東日本大震災後、宮城県気仙沼市で地元の保健福祉関係者が、認定NPO法人シェアII国際保健協力市民の会(以下、シェア)の支援のもと、二〇一一年八月に立ち上げたNPOです。二〇一二年二月に法人化し、二〇一四年三月末まではシェアとの共同事業として活動を行っていました。同年四月以降は独立して活動しています。気仙沼市の中でも沿岸部の被害が大きかった階上地区にトレーラーハウスの事務所を置き、「はしかみ交流広場」として地域に開放しています。

●●●これまでの被災者支援●●●

私たちは、団体設立後、震災による被災者支援を目的として階上地区にある六か所の仮設住宅(総世帯数約二八〇世帯)を中心に、『なんでも相談』、『健康相談』、『コミュニティ支援』を柱としてこれまで活動を行ってきました。

まず、『なんでも相談』は、生活の中での困りごとやどこに相談したらいいかわからない問題などを受け付け、相談に乗ったり、必要があれば関係機関につなげたりし

てきました。特に介護福祉系の資格を持つスタッフや理事がいるため、介護に関する相談を受けることも多くありました。

『健康相談』は、看護師・保健師の資格を持つスタッフが対応していますが、待っているだけではなかなか相談にはいらっしやらないので、他団体が行っている仮設住宅でのお茶会に同行して血圧測定や健康相談を行ったり、健康講話やスタッフによる保健劇を通して健康に関する啓発活動を行ってきました。

さらに、二〇一三年からは月に一度程度のお茶会の機会だけでなく、定期的に身体を動かす機会が必要と考え、二か所の仮設住宅で週一回、血圧測定やストレッチ、音楽に合わせた体操を行う『いきいき体操』を始めました。これは日中引きこもりがちな高齢者の生活不活発病予防を目的としていまし

たが、参加者の方にとって



▶いきいき体操

は単に身体を動かすだけでなく、体操後のお茶飲みみの時間が大切なコミュニケーションとなっています。

『コミュニティ支援』の「編み物講座」では、はし

かみ交流広場のフリースペースを使い、編み物を通じた交流を目的に、被災の有無に関わらず、地域の方々を対象に週に一度開催しています。編み物は自宅でもできますが、週に一度みんなで集まっておしゃべりをしながら編み物をしたり、出来上がった作品を見せてお互いに感想を言い合ったりすることが参加者の楽しみ、生きがいとなっており、団体設立当初から五年間続いていきます。最近では、編み物講座の参加者が近くの災害公営住宅に住む高齢者の方々に編み図と毛糸を持っていき、講座で習った編み物を教えるという流れも出てきました。足が悪く出かけるのが難しい高齢者にとっても楽しみが増え、私たちの活動が参加者によって地域に広がっています。



◀編み物講座

た事例の一つです。

また、被災後畑を失くし、仮設住宅で引きこもりがちな住民の方々に、野菜づくりを通して楽しみや近所の方との交流をしてもらおうと「野菜づくりプロジェクト」という活動も四年間行いました。

春に野菜の苗や土、プランターや資材を希望者の方に配布し、野菜を育てていただきました。水やりで外に出たときに近所の方と会話をしたり、上手に育てている方にコツを聞いたり、できた野菜をおすそ分けしたりと、野菜を通して交流の機会が増えました。また、各仮設住宅を訪問する支援者にとつては、野菜の話をきっかけに住民の方々からお話を聞いたり、「野菜の水やりをしましょう。」と外に出ることを促したりと、他の支援者にとつても住民の方々と関わる際に野菜がツールとなることもありました。

私たちの活動はスタッフが二名のため、できることは小さいですが、他の支援者と協力し合うことで活動を広げ、住民の方々にも協力してもらいながら続けることが出来ました。こうすることで、「支援する人⇄支援される人」ではなく、一緒に前を向いて共に歩んで来ることができたと思います。

●●●つながらない「恒久住宅」安心●●●

階上地区は、気仙沼市内でも防災集団移転の整備や災害公営住宅の建設が早く進み、昨年三月から仮設からの転居が始まりました。今年に入ってからさらに防災集団移転の自宅建設や追加の災害公営住宅が建設され、仮設住宅からの退去が進んでおり、現在仮設に残っている住民は半分以下となってきました。

仮設に残っている方は、転居先は決まっているものの土地の造成や建築が終わっていない方、また何らかの理由で転居が難しい方など様々です。このような方々は、同じ階上地区を支援している団体とミーティングや日頃の活動を通して情報交換を重ね、見守っていきたく考えています。

また、自宅再建や災害公営住宅に転居したあとも、「新しい家に入れてこれで安心」ではないようです。長い仮設暮らしで出来上がったコミュニティは、転居と共にまた崩れてしまいました。災害公営住宅は特に高齢者や一人暮らしの方が多いため、転居後なかなか新しいコミュニティが作られず、仮設のように気軽に集まれる集会所も近くにないため、孤

立しやすい状況になっていきます。また、高齢者の方が自宅再建後に子ども達家族と二世帯同居を始めた場合も、お互いの生活リズムを合わせるために、家族の中でも気を使わなければならず、ストレスを抱えている高齢者の方もいらっしゃいます。

●●●はしかみの保健室●●●

そこで、私たちは新しい住まいに転居した後も気軽に集まれる縁側のような場所が必要だと考え、昨年四月から「はしかみの保健室」という活動を開始。階上地区の大きな災害公営住宅と防災集団移転の場所からはしかみ交流広場までは、歩いて十分ほどのところですが、毎日開放していても、きっかけがなければなかなか立ち寄ることもできないため、血圧測定やカラダスキャン

による体重や体脂肪の測定、血管年齢や握力などを測定し、結果はご本人と私たちでそれぞれ記録し



▶はしかみの保健室

ています。測定後はコーヒーを飲みながら健康に関することやそれ以外のこともなんでも相談することが出来ます。昔近所で違う仮設に住んでいた方が、保健室で偶然出会い、話が弾むこともあります。

住民の方にとって「自分の居場所」が増えれば、それだけ社会とのつながりが増え、生きがいにつながるかと考えています。そしてこれは被災後転居を繰り返して、コミュニティを作り直してきた方々だけでなく、地域に住んでいる住民の方々にも当てはまります。そのため、今までは被災された方を中心に行ってきた支援をこれから地域に向けて行っていきたいと考えています。

地域の高齢者が介護を必要とせず元気でいられる健康寿命が延びれば、地域は元気になり、お互いに見守る住民力がつくと考えています。これからも、地域の人々の声に耳を傾け、地域の人々が出会い、つながりを生み出すような活動を続けていきたいと思っています。

NPO法人生活支援プロジェクトK

〒988-0234 気仙沼市長磯原ノ沢130-7
●TEL: 090-4076-5071(代表)
●E-mail: ssprojectk@yahoo.co.jp
●URL: <http://seikatsushien-kjindo.com/>

健康で安全な 消費生活を守るために

寄稿



若狭 久美子

NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット
副代表理事

自分たちの生活を守りたいという消費者の素朴な願いをかなえるため、昭和五十二年五月に仙台市消費者協会が発足しました。

めまぐるしい社会の変化に対応しながら「生活用品の即売会」や「制服リサイクルバンク」などを行い、資源の有効活用にも配慮した活動を行っていました。特に「制服リサイクルバンク」は、中高生の学生さんや父兄の方々に大いに喜ばれていました。（現在休止中）安全な生活という面では、冬になるとスパイクタイヤにより発生する粉じんのため、環境の汚染、健康への障害、道路の損傷などに関して大きな問題になった昭和五十七年頃、消費者協会はノースパイクトイヤ運動を展開し、遂には法による規制を実現したことが大きな出来事になりました。

当時は、スパイクタイヤ（車の滑り止めのためタイヤに鉄ピンを装着したもの）使用により、冬になると削り取られた舗装くずが風で舞い上がって大変な状況でしたが、現在は鉄ピンのないスタットレスタイヤになっています。

消費生活面でさらに発展を続け、暮らしの安全確保や限りある資源を大切に子孙の代まで生きのびられる環境を保つために、次の

ことを活動の方針に実践してきました。

- ① 消費者の意見や主張を国、県、市へ要望
- ② 環境保全活動（制服リサイクルバンク、低農薬茶、石けんの普及など）
- ③ 調査、研究（ごみ減量、食品の安全性が見える表示など）
- ④ 学習啓蒙活動（くらしの講座、学習会など）

しかしながら社会の仕組みの変化は著しく、私たち市民の生活に影響を及ぼすようになってきたので、その変化に対応していくため平成二十年十二月一日に法人化し、NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット（略称「セミコスネット」）に改め、来年四十周年を迎えます。

●●●消費者の権利を守る3つの法律●●●

消費者契約法…消費者が誤認・困惑し、それによって契約した時は取り消しができること。

景品表示法…商品やサービスの品質・価格を偽って誤認させる不当な表示に対して、適格消費者団体が差止請求できること。

特定商取引法…特定の取引で不当な行為に対して適格消費者団体が差止請求することができること。

セミコスネットは、特定商取引法の適格消費者団体になっています。

●●●消費者問題への取り組み●●●

一人ひとりの消費者が学びながら、安全、安心な社会をめざし身近な消費者問題について学びあう講座を開催しています。近年に開催した、消費者市民講座をいくつかご紹介します。

「すずめよう！3R」

3Rとは「リデュース（発生抑制）」、「リユース（再利用）」、「リサイクル（再生利用）」の英語の頭文字をとったものです。「リデュース」は、できるだけごみを出さないため食材は計画的に購入して使い切るなど、「リユース」は、繰り返し使うためビールなどの酒類はできるだけリユースびんを購入し、空びんは販売店へ持って行くなど、「リサイクル」は、紙類は紙類定期回収又は紙拠点回収、集団資源回収へ出す等のことを言います。（アメニティ・せんだい推進協議会の3Rわかる本2016から抜粋）

この3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効

に繰り返し使う社会（Ⅱ循環型社会）をつくらうとする3R活動を知っていただきました。

「消費者詐欺への対策」

最近増加している詐欺の手口として、スマホ・タブレット詐欺があります。急な金策が必要になりネットで今日中に融資可能と書かれていた闇サイトに申し込みをすると、スマホを複数台契約されて、買取業者に送らせるといふものです。

騙しのストーリーは、携帯電話とスマホやタブレットを契約させ、スマホやタブレットの現物を送らせる。どこでどういう契約をするのか細かく指定し、後の支払いは心配ないという説明をするがその後の支払い義務は全部契約者が負わされるというものです。

具体例としては病気の夫を支えるためにお金を借りようとしていた主婦や学資の足しにとアルバイトのつもりだったとする予備校生などであり、何かしらの弱みをもっていることが引っ掛かる要因になっています。

「老後の経済的不安」「老後の孤立の不安」「経済的不安定への不安」につけ込む詐欺があります。○〇権利付○〇社債○〇債券などもっともらしいネーミングで、確実に儲けられるビジネスであると

PRされるものです。

これら詐欺に騙されないための知識としては、契約の基本を知ることが必要であり、契約とは法的に意味のある約束のことです。その契約を守るためには合意の内容をきちんと分かっていることが重要になり、その上で自分がお金を出すだけの価値があることなのかということを考える必要があります。結局はなるべく自分の弱みを無くして契約について日頃から慎重に判断することを習慣づけることが重要であり、その意識の向上が図られたと思います。

「食品表示を考える」

平成二十七年一月より新しい食品表示制度が始まり、アレルギー表示のルールの改善や、加工食品の栄養成分表示の義務化、新たな機能性表示制度の創設がありました。

その意味すること、を皆さんで考え、消費者としての目利きを強化する取り組みをしました。



市民講座

今年は特に、「独占禁止法&景品表示の概要」では、独占禁止法は市場経済における競争のメリットを享受するために必要なルールを制定したものであり、会社にもたらずメリットや消費者のメリットについての意識を高めました。たとえば、米市場における産地競争が活発になり、食味と呼ばれる品質が年々向上しています。その結果最上級ランクの特A級が大幅に増加してきていることは消費者にとって望ましいことです。

景品表示法は、不当景品類及び不当表示防止法に関してより良い商品をより安く買うための表示を見抜く力が養成されました。（たとえばカシミヤの混入率と価格の比較で、不当な表示製品を判断することなど）

九月以降は、「古紙リフォーム教室」「相続について」「スマホトラブル」などの講座を行う予定です。

●●● 出前相談と講座 ●●●

セミコスネットでは、出前相談と出前講座も実施しています。

最近多い消費者問題は、広告詐欺と特殊詐欺です。

広告詐欺とは、広告内容と実際の内容が異なり、損失が生じるもので

す。また、特殊詐欺とは振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺等）と振り込め類似詐欺（金融商品等取引詐欺、ギャンブル必勝情報詐欺、異性交際斡旋詐欺等）の総称です。

出前講座で「消費者被害に遭わないために」と題して、寸劇で「電力の自由化」や「マイナンバー制度」に便乗した詐欺に関する注意喚起も行っています。

その他、仙台市の3R講師派遣事業（出前講座）では、地域に出向いてエコな小物作り教室を行っており、今年も児童館や高齢者施設などに出向いて、エコの意識を高めるために、皆さんが捨てる物を利用して手作り作品を作る楽しさを体験していただいています。



出前講座

NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット事務局

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター7階 レターケース86番
●TEL&FAX: 022-265-9469
●E-mail: semicos-net@cosmos.ocn.ne.jp

ゆるるのインターン生がリポートする “NPOで高校生の夏ボラ体験”



高橋 実希

社の伝言板ゆるるインターン
東北大学 2年

今年も沢山の高校生が夏ボラ体験に参加しました。今回は、二つのNPOでそれぞれ夏ボラ体験をした高校生の様子を、ゆるるでインターンをしている高橋実希さん（東北大学二年）がお伝えします。

●●障がい者が輝ける社会を目指して●●

「NPO法人麦の会」は、国産小麦を使用したパンやクッキーの製造、販売を手掛けるお店「コッペ」を運営している団体です。「コッペ」は障がいのある人もない人も一緒に働ける場所を作ろうと一九九八年十二月に開業しました。「コッペ」は「障がい者を雇用するための施設」ではなく、「たまたま障がいのある人も共に働いている普通のパン屋さん」を目指しています。また、手間暇をかけて生産された材料を使用してパン・クッキーを作ることや、障がい者と共に働



▶「コッペ」でパン作り

くことを通して、効率優先の社会を見直そうとしています。今回は夏ボラ体験二日目の高校生、今野和音さんと森彩音さんの様子を取材しました。

お店に取材に行ったときは皆さんでパンを作っている最中でした。メンバーやスタッフの皆さんは和気あいあいとしながらも慣れた手つきで自分の仕事をてきぱきとこなし、高校生の二人も一緒にパン作りの手伝いをしていました。

パン作りの後はクッキーとラスク作り。ラスクは一枚一枚丁寧にクリームを塗っていきます。コッペのスタッフ・メンバーは「力を入れ過ぎるとラスクが割れてしまうから気を付けてね」と初めての体験に少し緊張気味の高校生に優しく指導していました。アドバイスを聞いて、二人とも集中して取り組んでいました。

この高校生二名のボランティア初日の感想は、「パンやクッキーを作るのが意外と難しく、皆さんからアドバイスを頂いてもなかなか上手くできません。」と苦戦している様子。一方で、「皆さんとコミュニケーションをとりながら、暖かい雰囲気の中で仕事をするのが楽しいです。」と話しました。



◀ラスク作りをする高校生

麦の会の代表理事である飯嶋茂さんは、夏ボラに参加した高校生について、「今年も良い高校生が来たという印象を受けました。おとなしい子もいれば賑やかな子もいて、それぞれ個性があつてよかったです。皆さんしっかりしていて、本当に一生懸命活動してくれました。将来社会に出たときに、今回のボランティアで障がい者と共に働いて学んだことを頭の片隅に置いて活動してくれたら嬉しいです。」と話していました。

夏ボラ体験に参加した理由について、今野和音さんは「将来福祉の仕事に就きたいと考えているので、このボランティア体験を将来に活かしたいです。」、森彩音さんは「障がい者が社会の中でどのように働いているのかということを知りたい。自分の目で見て知りたかったので参加しました。今回ボランティア

体験をしてみても、障がい者の方が障がいのない人と変わりなく、ごく普通に仕事をしていることに驚きました。」と力強く話していました。二人にとって今回の夏ボラ体験は障がい者が社会でどのように活躍しているかを知る貴重な経験になったことでしょう。

●●地域全体で子どもを育てる●●

「NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター」(以下、サポートセンター)は、様々なスポーツのノウハウを活かしながら、明るく住み良い「街づくり」を目指して活動している団体です。スポーツは、健康維持や心身のリフレッシュだけでなく、

子どもの教育やコミュニティの形成など社会的に多くの分野に相乗効果をもたらしてくれます。

石巻市



▶キックベースフェスティバル開会式

は、東日本大震災で甚大な被害を受けました。サポートセンターでは、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し、被災して生活の楽しみを見出せないでいる方々を支援する活動も行っています。

サポートセンターが主催する石巻式キックベースフェスティバルが八月十四日に開催され、その準備や審判などを手伝う高校生二名、阿部友里香さんと高橋愛李さんを取材しました。キックベースとは、サッカーボールを使用して行うスポーツでルールや試合の進め方は野球に近いスポーツです。バットの代わりに足でサッカーボールを蹴り、グローブはなく手でボールをキャッチします。キックベースフェスティバルには幼稚園児から大人まで幅広い年代の方々が八十人ほど参加していました。キックベースをしている皆さんは、とても生き生きとしていました。

サポートセンター理事長の松村善行さんは、「夏ボラ体験をしている高校生には、言われたことだけをやるのではなく、自分で考えて積極的に行動することを学

んでほしい。」と話していました。高校生二人は、キックベースの準備や片付けの中で「何かできることはありますか?」と自分から進んで活動していました。



▶キックベースの様子

夏ボラ体験二日目となる二人にボランティアの感想を聞いてみたところ、高橋愛李さんは、「将来看護師を目指しているので、今回看護師を目指しているの、今回の夏ボラ体験で大人から子どもまで様々な人と関わることができ、学ぶことが多かったです。」、そして阿部友里香さんは、「初めてキックベースの審判をして戸惑うところもありましたが、大人の方々が親切に教えてくれたので楽しく活動できました。また、子どもとコミュニケーションをとる機会は普段あまりないので貴重な体験でした。」と話していました。二人ともボランティアを通して幅広い年代の人々と関わり、年代に応じたコ

ミュニケーションをとることの難しさや大切さを感じたようです。

松村さんがサポートセンターの活動を始めた理由は、「スポーツを通して社会のルールを学んでほしい」という思いからです。最近では近所づきあいというものが少なくなり、近所のおじさんが子どもを叱る光景などはほとんど見られなくなりました。松村さんは、昔のように地域全体で子どもを育てていく社会を取り戻したい!スポーツはそんな社会をつくる手助けをしてくれる、といいます。今回、キックベースに参加した子どもたちは、審判の判断に納得がいけない時は意見をし、審判の説明を聞いたなら納得し、時には我慢するということができていました。

大人と子どもが一緒になってスポーツをすることで、子どもは自然と社会のルールを学ぶことができるのです。明るく住み良い街づくりには、地域全体で協力して子どもたちを育てていく環境が欠かせません。スポーツはそのような街づくりを手助けしてくれるはず。石巻は、そんなスポーツの力でさらに活気のある街になることでしょう。楽しみです。

公益社団法人 日本てんかん協会宮城県支部

みやぎNPOプラザ（以下、プラザ）では、NPOや市民活動団体に、活動の拠点となる事務スペースの貸し出しをしています。入居期間中に課題を解決しながら、団体の基盤を整備し、活動を発展させることが目的です。

八月には、てんかんのある患者本人や家族を中心とした市民団体である、公益社団法人日本てんかん協会宮城県支部（以下、宮城県支部）が入居しました。

一人で悩まないで

てんかんは、発作性の症状を繰り返す脳の病気で、年齢に関係なく誰でも発症する可能性があります。また、専門の病院や相談先を探すことが難しく、公的機関での相談もほとんど実施されていません。てんかんと診断されても一人で悩み、苦しんでいる患者本人や家族が多いのです。

このようなてんかんのある方たちの悩みや苦しみを少なくしたい、そして一人で悩まないでほしい、との想いから日本てんかん協会は発足し、宮城県支部でも定例会や、個別相談を実施しています。

毎月開催する定例会は、患者本人やその家族が十五〜二十人ほど

集まり、抱えている問題について気兼ねなく語り合える場です。てんかんに関しての情報交換もしています。

個別相談は年間一八〇件に達し、主に宮城県支部代表の加藤孝吉さんと、事務局長の萩原せつ子さんが対応。就職や他者とのコミュニケーションなど生活全般の悩み相談から、薬の副作用やてんかん患者が利用できる福祉制度（自立支援医療制度）についての情報提供もしています。直接語り合うことで心が軽くなった相談者からは「話せて良かった」という言葉が出てきます。

一方で宮城県支部は一般対象のてんかん講座の開催や、てんかん啓発のキャンペーンイベントなどへの参加を通じて、社会啓発活動にも力を入れています。

てんかんという病気のことを多くの人に知ってもらい、正しく理解してもらうことが、てんかん患者の社会参加につながります。



▶当事者同士の交流を促すサマーキャンプも開催

活動を継続していくために

宮城県支部は、八月から入居したプラザの事務ブースを、相談対応や打ち合わせ、会報の作成などを行う事務所として活用していく予定です。

宮城県支部が一九八〇年に発足して以来、長く活動を続けてきた中で継続のための課題も見えてきています。宮城県支部の独自資金の確保や、世代交代に向けた若いスタッフの育成がその最たるもの。プラザに居を構える三年間はこれらの課題に取り組む期間と、宮城県支部は捉えています。

「てんかんの発作は様々で、ひとりひとりみんな違う。もっとてんかんについて知って欲しい。病気があっても、その人らしく生きてもらいたい」。

てんかん患者や家族として活動に携わってきた宮城県支部の皆さんの想いです。その実現のため、さらなるステップへと上がろうとしています。

公益社団法人日本てんかん協会宮城県支部

●TEL: 022-247-0356

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

今のままで大丈夫？
NPOのためのリスク管理講座

9/28(水) 14:00~16:00

基本を押さえる！
NPOのための税金初級講座

10/21(金) 13:30~16:30

認定NPO法人申請相談

相談日は要相談 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)
☎022-256-0505 ☎022-256-0533
✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/



助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

東日本大震災現地NPO応援基金 JTNPO応援プロジェクト第2期 第1回

- 助成対象：「ひとり一人の想いを育むコミュニティづくり支援」で、下記いずれかに該当するもの。
(1)自らの力でコミュニティづくりに取り組む住民を応援する事業
(2)生活の課題を自らの力で解決することが困難な住民を支援する事業
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに常設の活動拠点があり、被災した地域や人々を対象に日常的な活動を行い、その実績が2年以上ある民間の非営利組織。(法人格の有無・種類不問)
- 助成金額：1件あたり150万円以上500万円以下
- 応募締切：9月26日(月)当日必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター
『東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト』事務局(担当：中川)
TEL：03-3510-0855
URL：<http://www.jnpoc.ne.jp/?p=11701>

平成29年度 公益事業振興補助事業助成金

- 助成対象：公益・社会福祉の増進、復興支援事業
- 対象団体：NPO法人、財団・社団法人、社会福祉法人、更生保護法人、商工会及び商工会議所等(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：①公益の増進
・社会環境・国際交流：上限金額の2/3を補助
・スポーツ・医療・公衆衛生・文教・社会環境：上限金額の1/2を補助
・新世紀未来創造プロジェクト：100万円
②社会福祉の増進 上限金額の3/4を補助
③復興支援事業 300万円
- 応募締切：9月30日(金)15:00
※別途要望書類の郵送も必要、10月6日(木)17:00必着
- 連絡先：公益財団法人JKA
URL：<http://www.ringring-keirin.jp/index.html>
※RING!RING!プロジェクトホームページお問い合わせフォームからお問い合わせください。

ソーシャル・ジャスティス基金 2016年度 第5回助成公募

- 助成対象：不公正の是正、市民社会の形成を目的とした、アドボカシー(社会提案)活動で、下記いずれかのテーマを対象としたもの。
①「子ども・若者の未来に関する取り組み」
②「原発事故による社会課題解決への取り組み」
③「見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み」
- 対象団体：営利を目的としない上記活動を行う団体で、助成決定後、アドボカシーカフェを共催し、多様な市民との対話ができること。助成発表フォーラムへの参加ができること。
- 助成金額：1件あたり上限100万円
- 応募締切：9月30日(金)当日消印有効
- 連絡先：認定NPO法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金
TEL：03-5941-7948
URL：<http://www.socialjustice.jp/>

「みやぎチャレンジプロジェクト」助成 ～あなたの団体の活動費を共同募金会と一緒に集めませんか?～

- 助成対象：各団体が取り組む社会課題解決事業(まちづくり、過疎、居場所作り、ニート、不登校、自殺、孤立、貧困、DV、ホームレス等)
- 対象団体：宮城県内に活動拠点があり、県域または各市町村で活動している民間の非営利団体。5名以上で構成され、団体として原則1年以上の活動実績があること(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1団体あたり助成申請額は10万円以上
団体に寄せられた寄付金の全額を助成
※寄付金の入金管理や広報用資材作成費として団体に寄せられた寄付額の10%を事務手数料としてご負担いただきます。(事務手数料上限10万円。寄付額が10万円未満の場合は負担なし。)
- 応募締切：9月30日(金)必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
TEL：022-292-5001
URL：<http://www.akaihane-miyagi.or.jp>

公益財団法人トヨタ財団 2016年度国内助成プログラム 未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ ー地域に開かれた仕事づくりを通じてー

- 助成対象：A)しらべる助成(半年間)
地域課題の発掘や事前調査および事業戦略の立案を目的としたプロジェクト
B)そだてる助成(2年間)
地域課題解決に向けた事業の実施、担い手となる人材の育成を目的としたプロジェクト
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：運営の中心となる組織の法人格の有無・種類不問
- 助成金額：A)1件あたり上限100万円
B)実施内容と申請額に基づき選考委員会で決定された金額
- 応募締切：9月30日(金)15:00
- 連絡先：公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム
TEL：03-3344-1701
URL：<https://www.toyotafound.or.jp/program/community.html>

公益財団法人正力厚生会 がん患者団体助成事業

- 助成対象：がん患者会やがん患者を支援する団体が主体となって取り組む事業。
- 対象団体：国内で活動するがん患者会、がん患者やその家族を支援するグループ(医療機関内の患者会等を含む)。法人格の有無不問。
- 助成金額：1件あたり上限50万円
- 応募締切：10月17日(月)必着
- 連絡先：公益財団法人正力厚生会事務局
TEL：03-3216-7122
URL：<http://shourikikouseikai.or.jp/>

- 日 時：10月1日(土)～10月2日(日)
各日10:00～開場
- 場 所：にしりりかの美術館
(黒川郡大和町吉岡字館下47)
- 内 容：10/1 上映作品
『ちづる』、『もっこす元気な愛』、『Start Line』
10/2 上映作品
『DOGLEGS』、『破片のきらめき』、『わたしたちに許された特別な時間の終わり』
※映画監督によるトークや座談会もあります。
詳細は下記URL参照
- 定 員：各回40名(40名を超えた場合は、別会場(2階アトリエ)での視聴となります。)
- チケット：1回券1,200円(1,300円)
3回券3,000円(3,300円)
6回券5,500円(6,000円)
※特別券600円(650円)
対象：小・中学生、障がい者及び介助者(1名)
※()内当日料金
- 申込方法：E-mail・FAXで予約。いずれも返信で予約番号をお知らせします。当日受付で予約番号をお知らせください。
- 主 催：吉岡宿にしりりかの映画祭実行委員会
- 連絡先：TEL：070-5011-0028(担当：小野田)
E-mail：info@nisipirica.com
URL：https://www.facebook.com/eiga.nisipirica/

10/1 アート・インクルージョン2016

.....
バリアフリーと地域をテーマに、アートの知識やスキル、障がいのあるなしなどに関わらず、アートを通して全ての人が自分らしく生きるための取り組み。7年目となる今年のテーマは「来て、見て、美味しい 仙台ながまち」。観光と食とアートを切り口に、仙台・長町の魅力に迫ります。

- 日 時：10月1日(土)～10月31日(月)
- 場 所：仙台市太白区長町エリア一帯(長町商店街、JR長町駅、ララガーデン長町、楽楽ホールホワイエなど)
- 内 容：10/1(土)11:00～20:00 Ai★本祭
長町商店街、JR長町駅、ララガーデン長町の長町エリア3会場でバリアフリーな演奏やパフォーマンスなどのステージを開催します。
10/1(土)～10/31(月) Ai★Month
商店街やララガーデン長町、復興住宅や「せんくら」と1ヶ月にわたりアートなコラボレーションを展開します。
※詳細は、下記URLをご覧ください。
- 主 催：一般社団法人アート・インクルージョン
NPO法人ほっぷの森、一般社団法人MMIX Lab
- 連絡先：一般社団法人アート・インクルージョン
TEL：022-797-3672

E-mail：office@art-in.org
URL：http://art-in.org/

10/2 2016年世界食料デー 多賀城大会

.....
10月16日世界食料デーは、国連世界農業機関(FAO)により、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的として制定されました。今年は、国内外の子どもを取り巻く現状について共に考えていきたいと願っています。

- 日 時：10月2日(日) 14:00～
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター
大会議室3階(多賀城市中央2-25-3)
- 内 容：①NPO法人いのちのパン 設立経過と活動状況
②ポリビア活動報告『継続支援で子どもが変わる』
- 参加費：無料
- 申込方法：事前予約不要。当日会場に直接お越しください。
- 主 催：NPO法人いのちのパン
一般財団法人日本国際飢餓対策機構
- 連絡先：一般財団法人日本国際飢餓対策機構 東北事務所
(担当：加藤)
TEL：022-217-4611(月～金：9:00～17:00)
FAX：022-217-6651
URL：http://www.jifh.org/

10/23 子育て応援フェスティバルIX

.....
「かえっこバザール」、人形劇やわんぱく寄席など、親子で楽しめるイベント盛りだくさん！ぜひお越しください。
※子育て応援フェスティバルIX当日運営ボランティアも募集中！連絡先までお問合せください。

- 日 時：10月23日(日) 11:00～17:00
- 場 所：エル・パーク仙台(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館))
- 内 容：かえっこばさー(おもちゃコーナーと体験ブース)
「ねずみのチョッキ」人形劇団プーク
「わんぱく寄席」落語や紙切り等
- 参加費：無料
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

掲載は無料です!

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

http://www/miyagi-npo.gr.jp



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 講 師：永富 良一氏(東北大学大学院 医工学研究科・医学系研究科教授)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先へTELで申込み
- 主 催：つるがや元気会
- 連 絡 先：ひまわり手芸店(芦澤)
TEL：022-251-5663

9/22 2016年自閉症・発達障害支援セミナー 「その人らしさを育む支援」発達障害のある方への支援の今とこれから

.....
ここ10年程で発達障害者支援法が施行・改正され、教育の場では特別支援教育が施行され、関連する研究も活発に行われています。発達障害のある子どもの理解や支援についての取り組みはどのように進化し、今後の方向性はどのようになっていくのか。現在、そしてこれからの支援について考えます。

- 日 時：9月22日(木・祝) 10:00～12:00(開場9:45～)
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 講 師：梅田 真理氏(宮城学院女子大学教育学部教育学科教授)
- 定 員：100名
- 参 加 費：当法人正会員：無料/左記以外の方：3,000円
申込受付後、1週間以内を目処に参加費を指定口座へ振込。※入金後の返金不可(振込先)
七十七銀行 名掛丁支店
(しちじゅうしちぎんこう なかけちょうしてん)
普通口座 口座番号：6020798
名義：特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット
- 申込方法：TEL・FAX・E-mailにて受付。「氏名・当日連絡のつくTEL・ご所属等」必要事項を下記事務局宛に申込み。E-mailの場合、件名に「梅田先生セミナー申込み」と明記。
- 主 催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連 絡 先：TEL：022-265-5581 FAX：022-352-7088
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp
URL：http://mddsnet.jp/

9/22 NPO法人アートワークショップすんぷ ちょ舞台公演2016 Fragment

.....
年齢や障がいの有無を問わない、多様な出演者が繰り広げるダンス公演です。スコットランドと日本のアーティストが演出した舞台は、0歳から100歳まで障がいがあってもなくてもどなたでもご入場いただけます。芸術の秋、今まで出会ったことのないような芸術体験をお届けします。ぜひご家族揃ってお越しください。

- 日 時：9月22日(木・祝)～9月25日(日)
22日 14:00～ ※プレビュー
23日 11:00～/19:00～
24日 11:00～※リラックス/18:00～
25日 11:00～/15:00～
※24日リラックス=車いすや医療器具を携行している方がゆったりと鑑賞いただけるよう客席に配慮したリラックスパフォーマンスデー
- 場 所：せんだい演劇工房10-BOX box1
(仙台市若林区卸町2-12-9)
- 対 象：0歳から100歳まで、様々な障がいがあっても、どなたでもご入場いただけます。

- チケット：詳細は、下記URLをご確認ください。
- 予 約：下記連絡先に、TEL・E-mailでお問合せください。
※HP専用フォームからも予約可能
- 主 催：NPO法人アートワークショップすんぷちょ
- 連 絡 先：TEL：070-5017-5904
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

9/29 行事食を味わう～行事にまつわる食とミニ講座～ 9月「十三夜の会」

.....
四季折々にある節句や記念日にお祭り。日本では、いにしえより自然の恵みに感謝し、家族の成長や健康を願い、「食」とともに祈ってきました。おりぎの家では、日本の伝統行事を見直し、そこに伝わる心と食を考える講座を企画しました。

- 日 時：時間すべて11:30～13:30
9/29(木)、9/30(金)、10/1(土)
- 場 所：おりぎの家(仙台市太白区長町1-12-14)
- 定 員：各日12名
- 参 加 費：各日1,500円(お食事・飲み物・デザート付き)
- 申込方法：開催前日までに下記連絡先まで申込み
- 主 催：NPO法人おりぎの家
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-249-1625
URL：http://oriza1.jimdo.com/

10/1 視覚障害者就労促進フォーラム -目が見えないと働けないと思いませんか-

.....
「目が見えなくなったから、会社を辞めなければいけない」「視覚障害者を採用したが、どんな配慮をすればいいのかわからない」など悩んでいませんか？目が見えないと働けないという概念を少しでも払拭し、視覚障害者の就労促進のため開催します。

- 日 時：10月1日(土) 13:30～17:00(開場13:00～)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 11階 第1研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対 象：視覚障害者の就労に関心を持つ方であれば、どなたでも
- 定 員：70名(事前申込不要)
- 参 加 費：無料
- そ の 他：eye eye福祉機器展同時開催！就労で活用されている拡大読書器やパソコンソフトなど福祉機器を多数展示します。フォーラムに参加して、機器に実際に触れてください。
- 主 催：NPO法人視覚障害者パソコンアシストネットワーク
NPO法人アイサポート仙台
仙台市中途視覚障害者支援センター
- 連 絡 先：NPO法人アイサポート仙台
TEL：022-212-1131 FAX：022-212-1136
E-mail：sisien@sky.plala.or.jp
URL：http://www15.plala.or.jp/isupport/

10/1 吉岡宿にしびりかの映画祭

.....
生き辛さって何だろう。差別？いじめ？貧困？障がい？暴力？戦争？人によって・環境によって「生き辛さ」は違い、その状況に対する理解も異なります。そんなことを考えながら、「知らないものを知りたい」、「知らないものを知って語り合いたい」という想いから開催します。ドキュメンタリー映画を通じて、いろいろな生き方を感じましょう。

9/19 平成28年9月期 傾聴ボランティア養成講座in仙台市 (3回連続講座)

人は誰かに話を聞いてもらうことで心が軽くなり、浄化され悩みの半分は軽減されると言われています。当会では、傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添うことを心掛けています。日常の中にも生かせる「傾聴」、あなたもボランティアしてみませんか？

- 日 時：3日間すべて10:00～15:00
①9月19日(月・祝) ②10月5日(水)
③10月8日(土)
※3日間のうち欠席した日の補修講座有
- 場 所：①・③仙台市シルバーセンター第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
②仙台市福祉プラザ第2研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内 容：傾聴の基本、共感と受容、傾聴のスキル、ロールプレイング、コミュニケーションエクササイズ
- 持 ち 物：筆記用具、昼食(各自持参)、動きやすい服装
- 対 象：ボランティアとして活動できる方
- 定 員：30名程度(定員になり次第、締切)
- 参 加 費：6,000円(お振込みいただいた受講料は返金いたしません)
申込み後、3日以内に振込をお願いします。
(振込先)
ゆうちょ銀行 記号番号 02220-8-134520
※通信欄に住所・氏名・ふりがな・TEL・FAX・
「養成講座受講料」と明記。お振込票は講座初日
にご持参ください。
- 申込方法：下記連絡先にTELまたは、FAX・E-mailで申込み。
申込みの際、氏名・住所、TEL、年齢、講座に
参加したいと思った理由を記入。
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連 絡 先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

9/19 『にじいろ祭り2016～レインボー リッジを駆け抜けろ～』

にじいろクレヨン発足から5年。5年間の感謝とみなさんともっとつながりたい！という気持ちをこめて開催します。いつも支えてくださっている方もお久しぶりの方も、初めまし

ての方もみんな一緒に楽しみましょう！

- 日時・場所：9月19日(月・祝)
◆10:30～17:00
のくのくハウス(石巻市門脇字浦屋敷83-24)
◆11:00～15:00
にじいろひろば(石巻市大街道西2-2-25「千の杜学びの」ショップC棟)
「千の杜学びの」学びのホール(石巻市大街道西2-2-25)
- 内 容：子どもたちの考えた企画やお絵描きやワークショップなどを各会場で開催する予定。下記連絡先URLに特設ページを公開。詳細は下記URLをご覧ください。
- 主 催：NPO法人にじいろクレヨン
- 連 絡 先：TEL/FAX：0225-25-5144
E-mail：info@nijiir-kureyon.jp
URL：http://nijiir-kureyon.jp/nijifef/nijifef.html

9/21 やっぺす!ママのわスクール 食育公開講座

学びをとおしてつながり支え合うことを目的とした「やっぺす!ママのわスクール～つなげよう、つながろう、ママのチカラ～」では、“食をとおして親が子どもに残せるもの”をテーマに講座を開催します。かつおぶしで取ったお出汁の味比べもありますよ!

- 日 時：9月21日(水) 10:00～12:00
- 場 所：石巻中央公民館(石巻市日和が丘1-2-7)
- 定 員：30名(先着順)
- 参 加 費：500円(お土産つき)
- 申込方法：下記連絡先までTELにて申込み
- 主 催：NPO法人石巻復興支援ネットワーク
- 連 絡 先：担当：オノ、エンドウ TEL：0225-23-8588
URL：http://yappesu.jp/

9/21 つるがや元気会健康講座 「運動と健康」 ～エンジンの潤滑油を切らさないためには～

動くのがおっくうになり、動かなくなると筋肉が衰え動けなくなってしまう。もしそうになったら、みんなと一緒にできる範囲で運動をしてみましょう。少しずつでも動けるようになるはず。自分にあった楽しめる運動をみつけましょう。

- 日 時：9月21日(水) 14:00～15:30
- 場 所：鶴ヶ谷市民センター(仙台市宮城野区鶴ヶ谷2-1-7)

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。下記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県等所轄において、2016年7月11日～8月10日までにNPO法人の設立を新しく申請した団体はありません。

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分7月11日～8月10日 仙台市所轄分7月11日～8月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 子どもにやさしい まちづくり	石巻市	市民・NPO・行政を巻き込み、子ども・子育て支援団体との協働による講座・研修の実施等、まち全体を子どもにやさしいまちにしていくことで、皆が幸せを感じ暮らせる社会の実現を目指す	7/28
仙台市 日本熱科学 研究支援機構	青葉区	熱科学研究に関する学術団体の維持及び活動を支援する事業、熱科学研究に関する学術講演会の開催を支援する事業、熱科学研究及び技術交流の促進を図る事業 他	7/25

宮城県のNPO法人数

808団体

- 宮城県等所轄：391団体 ●仙台市所轄：417団体

※2016年8月10日現在

【宮城県 認定】新たに認定NPO法人を取得した団体

●NPO法人底上げ(気仙沼市)

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

- 主 催：認定NPO法人あかねグループ
- 連 絡 先：TEL：022-285-0945 FAX：022-282-4788
URL：http://npo-akane-group.jimdo.com/

9/16 ASOBIえnisipirica (アソビエニシピリカ)

黒川こころの応援団は、表現活動を支えるアトリエnisipirica（ニシピリカ）を運営しています。今の社会では生きづらく、だからこそ奔放さや不器用さを表現できる描き手一人ひとりが、自分らしく生きていくということを作品を通して表現しています。

- 開催期間：9月16日(金)～9月20日(火) 11:00～16:30
※9月18日(日)くりはら万葉祭の時は17:00まで。
最終日は16:00まで。
- 場 所：風の沢ミュージアム
(栗原市一迫片子沢外の沢11)
- 内 容：展示はお化けの壁画の他に、織り、立体、nisipiricaの織りを使った製品、織りのアウトレット品などもならびます。 ※会期中は、くりはら万葉祭も開催。
- 入 場 料：無料
- 主 催：NPO法人黒川こころの応援団
- 連 絡 先：〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL：070-5546-8669
E-mail：info@nisipirica.com
URL：http://m-kissa.com/

9/17 大切な人を亡くした方のわかちあいの会 …大切な人を亡くしたとき…

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆仙台会場：9月17日(土)
各日14:00～16:30【毎月第3土曜日】
場所：あしなが育英会 仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- ◆石巻会場：10月9日(日)
時間14:00～16:30【毎月第2日曜日】
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- ◆気仙沼会場：10月22日(土)
各日13:30～16:00【偶数月第4土曜日】
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
(気仙沼市東新城2-2-1)
- 対 象：大切な方をなくされた方、どなたでも参加可能
- 参 加 費：無料
- 申込方法：事前の申込みは、必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡頂けると助かります
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連 絡 先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

9/17 高齢者のための 「Windows10」操作講座

パソコンの「アップグレードで戸惑っている方」や「買ったパソコンがWindows10だった方」を対象にご自身のパソコン持ち込みで、

Windows10操作のお悩み解消をお手伝いします。

- 日 時：9月17日(土)～18日(日)
全2日間 13:30～16:00
- 場 所：仙台市台原老人福祉センター2階
(仙台市青葉区台原森林公園1-3)
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：2,500円
- 申込方法：下記連絡先まで、TELで申込み。申込み時、氏名、連絡先、パソコン経歴(パソコンの使用年数)をお知らせください。
- 主 催：NPO法人仙台シニアネットクラブ
- 連 絡 先：TEL：022-395-7921(平日9:30～16:30)
URL：http://www.sendai-snc.net/

9/17 介護の“お悩み持ち寄り相談会” 仙台市内の“つどい”

“つどい”は知恵の宝庫、参加して話すことから始めましょう。

- 日 時：9月17日(土) 13:00～15:00(*毎月第3土曜日)
- 場 所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内 容：介護家族の話し合い、語り合い
- 対 象：どなたでも参加できます。
- 参 加 費：100円(資料代)
- 申込方法：事前申込不要、会員資格の有無不問
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部
- 連 絡 先：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
(宮城県社会福祉会館2階)
TEL/FAX：022-263-5091
URL：http://www.miyagisibu-alz.org/

9/18 NPO法人ハーベスト主催<コーチング講演会> 若者が動き出すコミュニケーションを学ぶ!

～生徒や若手社員のバイタリティサイクルが回り出す～

ハーベストは、宮城県内で毎年約1万人の中高生が受講しているキャリアセミナーを開催し、多彩な職業の社会人が中高生に自らの生き方を語る中で生徒一人ひとりが生きる意図を探し始めるキッカケを創りだしています。今回は、これまでの活動をふまえて若者の持つ「伸びしろ」をしなやかに伸ばしていくためのコミュニケーションのあり方を探る講演会を企画しました。

- 日 時：9月18日(日) 13:00～16:30(開場12:30～)
- 場 所：日立システムズホール仙台 3階 エッグホール
(仙台市青年文化センター：仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 内 容：基調講演「若者を伸ばすコミュニケーションセンス」
講師：岸 英光氏(エグゼクティブ・コーチ)
クロストーク「若者の伴走者が持つ力について」
岸 英光氏×NPO法人ハーベスト代表理事 山崎 賢治
- 定 員：90名
- 参 加 費：社会人3,000円
大学生・高校生・専門学校生2,000円
※当日受付にてお支払いください。
- 申込方法：下記申込フォームからお申込みください。
FAXでも受付いたします。
申込フォーム:https://ssl.form-mailer.jp/fms/3de59ee8457692
- 主 催：NPO法人ハーベスト
- 連 絡 先：TEL：022-395-4311 FAX：022-395-6432
URL：http://www.heartbest.net/

素があると、「何よりも楽しい」「規制が少なく自由度が大きい」「その子自身の判断に委ねられる部分が多い」のです。運動能力や、コミュニケーション能力の発展、自発性・自主性の芽生え、知的能力や感性を育みます。

- 日 時：毎週水曜日 16:30～18:30
毎週土曜日 9:30～11:30
- 場 所：totoコート蛇田(石巻市蛇田字北経塚11-9
ローソン裏のフットサルコート)
- 内 容：キックベース、バスケットボール、ドッチボール、
キャッチボール、サッカーなど多種目を基本に活動。
- 対 象：小学1年生～小学6年生(男女問わず)
- 月 会 費：1年生～2年生3,000円、3年生以上は4,000円
(会場費、保険代)
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主 催：NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター
- 連 絡 先：〒986-0822 石巻市中央2-10-13
TEL：0225-96-4334
URL：http://www.i-support.or.jp/

電話相談

“ふくしま”と“あなた”をつなぐ“みやぎ”の相談窓口 福島県県外避難者相談センター

この窓口は東日本大震災で福島県から宮城県に避難し、今後の生活拠点を決めかねている方に対し、相談・支援を行うセンターです。皆さんのライフプランに合わせて役立ちそうな各種制度や福祉サービスのご案内もいたします。

- 開設時間：毎週火・水・金曜日 10:00～17:00
※祝祭日の場合は休みとなります。
- 相談TEL：080-9259-7049
※まずは、お電話いただき、氏名・連絡先を頂戴
しましたら、お電話をかけ直しお話を伺います。
電話代のご心配なくお気軽にお電話ください。
- 相談E-mail：f-soudan@renpuku.org
- 訪問相談：下記住所での対面による相談は予約制です。
事前にTELで予約ください。
- 対 象：東日本大震災で福島県から宮城県に避難している方
- 連 絡 先：福島県県外避難者相談センター
(運営：一般社団法人みやぎ連携復興センター)
〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-7裕ビル6階
http://www.renpuku.org/

イベント

9/14 みやぎNPOプラザ 利用者懇談会 アツく、語りませんか？NPOのこと

活動分野が違って、多くのNPOが抱える「人材」や「お金」や「広報」などの悩み…。「よその状況を知りたい!」「ほかの団体はどう乗り越えているの?」などの情報交換をはじめ、NPOにまつわるあれこれをざっくばらんに語り合いたいです。NPOに参加してみたいな、という方も大歓迎です。

- 日 時：9月14日(水) 18:30～20:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 交流サロン
- 対 象：プラザを利用したことのある方
- 参 加 費：無料(お茶とお菓子をご用意しています。差し入れも大歓迎!)
- 申込方法：申込書に必要事項を記入のうえ、FAX・E-mail
で下記連絡先まで申込み
※申込書は下記URLリンク先からダウンロードできます。
※配布用として、団体紹介パンフレットやチラシ
などをぜひお持ちください。
※事前申込みにご協力ください。もちろん当日参加もOKです。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyuu/
img/2016_0914_riyousyakonnandannkai.pdf

9/15 あかねグループのコミュニティーカフェ 「あかね食堂」開店します

ご高齢の方、介護家族の方の、「街なかでごはんを食べる機会がない」という声を聞き、「おいしいごはんなら自信がある!」と、月に1度、2時間だけの「あかね食堂」を企画しました。くつろぎとリフレッシュの時間をお過ごしください。

- 開店予定：9月15日(木)、10月20日(木)、
11月17日(木)、12月15日(木)
※日程は変更になる場合があります。
- 時 間：11:30～13:30
- 場 所：あかねサロン
(仙台市若林区遠見塚1-5-35 あかね事務所1階)
- 対 象：ご高齢の方、介護家族の方、外ごはんしたい方、どなたでも
- 食 事 代：300円(税込) ※要予約
- 定 員：限定10名
- 予 約：下記連絡先へTELで予約
※駐車場を利用する場合も、事前予約
※開催前日の15:00締切
※キャンセルの場合はご連絡をお願いします。

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.8.16現在) 敬称略

●正会員 50名

<仙台市> ●斎藤純子 ●平野由紀子

●賛助会員 101名

<仙台市> ●大西康美 ●田所希衣子 ●仙台平野再生支援ボード
<名取市> ●NPO法人イー・エルダー東北支部
<柴田町> ●青少年と障がい者の自立支援センターとおきの広場
<神奈川県> ●妻鹿ふみ子

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の
種類をご記入ください。

information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

山元の未来への種まき会議 運営スタッフ(ボランティア)募集!

山元の未来への種まき会議では、山元の未来をよりよくしていく活動に賛同していただける運営スタッフ(ボランティア)を募集しています。

- 活動日時: 2ヶ月に1回開催する種まき会議開催日
※活動日・時間はお問合せください。
- 活動内容: ①種まき会議当日の運営スタッフ
・受付や会場設営など、当日の運営
・どなたでも参加可能
②運営委員スタッフ
・種まき会議の運営委員として、企画から運営まで関わっていただきます。
・月1回の運営委員会への参加をお願いします。
- 応募方法: 下記連絡先まで問合せ
※ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。
- 応募主体: 山元の未来への種まき会議
- 連絡先: TEL: 090-8782-1580(岩見)
E-mail: tanemaki.info@gmail.com
URL: http://tanemaki.info/

秋のアレマキャンペーン「アレマ隊」募集

ポイ捨てを見て「アレマ」と感じた皆さんが、「アレマ隊」として気軽に参加できる「アレマキャンペーン」を実施します。ポイ捨てについて考えるきっかけにごみ拾い活動をしてみませんか?

- 活動期間: 10月12日(水)～10月31日(月)
- 活動場所: 仙台市内各所(ご自宅周辺や通勤通学路など、ポイ捨てごみが気になる場所)
- 活動内容: ①キレイにし隊コース(とにかく拾う!)
②数えてみ隊コース(種類ごとに数えて拾う!)
③考えてみ隊コース(ポイ捨ての解決策を考える!)
※申込者には、参加キット(アレマレポート(活動報告様式)、ごみ袋などをお送りします。)
- 対象: どなたでも
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先まで希望の活動内容を選択し申込み。
- 申込締切: 10月27日(木)
- 連絡先: 仙台市環境局廃棄物管理課
TEL: 022-214-8250

障害者スポーツサポートボランティア募集&講習会開催

私たちは、障害のある方々にスポーツを体験していただくためのきっかけと環境づくりを行っています。パラリンピックで盛り上がりを見せる障害者スポーツですが、障害者スポーツの普及・振興のためには支える方々が必要です。ぜひ私たちと一緒に活動してみませんか?

- 日時: 時間両日とも13:30～17:00
①11月3日(木・祝) ②11月23日(水・祝)
※2日間連続での参加をお願いします。
- 場所: 仙台市福祉プラザ1階プラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内容: 障害についての理解を深める(身体障害、知的障害、精神障害、内部障害)、障害者スポーツ体験
- 対象: 障害者スポーツに興味のある方、ボランティア活動に興味のある方など
- 参加費: 無料
- 持ち物: 動きやすい服装、筆記用具
- 申込方法: 下記連絡先まで氏名、住所、連絡先、年齢、職業をご記入の上、TEL・FAX・E-mailにて申込み。
- 申込締切: 10月28日(金)必着
- 応募主体: 仙台市障害者スポーツ協会
- 連絡先: TEL: 022-236-8690(月～金10:00～17:00)
FAX: 022-236-8691
E-mail: sdsa@pop21.odn.ne.jp
URL: http://www1.odn.ne.jp/sdsa/

事業案内

毎月第4日曜日開催!いわぬまあそび場の会

里の杜中央公園において、外遊びを通して子どもたちの健やかな成長を願って活動しています。ぜひお越しください。

- 日時: 毎月第4日曜日 10:30～16:00
- 場所: 里の杜中央公園(岩沼市里の杜3-3)
- その他: 10月30日(日)は、芋煮会を予定。
子どもだけでなく、どなたでも参加できます。
- 主催: いわぬまあそび場の会
- 連絡先: 担当: 箕笹 TEL: 090-3755-4496

みやぎNPOプラザ短期ショップ 縫ひの会

被災地の創作作家の方々の作品も多数展示する予定です。ぜひご覧ください。

- 開催日時: 10月11日(火)～10月16日(日) 10:00～16:00
- 場所: みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内容: 着物リメイク洋服、古布による(小物、アクセサリー、押絵、古布人形、等)の展示・販売
- 主催: NPO任意団体 絆 想像の翼
- 連絡先: 担当: 代表 伊藤まゆみ
TEL: 090-9535-5353

ボール遊びを中心とした“わんぱくスポーツ活動” 参加者募集中!

サッカーなど複数のスポーツを体験し、その遊びの中で様々な動きを経験、身体を動かす楽しさを味わいます。遊びの要



宮城県中小企業労働者融資制度『自動車資金』のご案内

～宮城県とろうきんが提携し、はたらくみなさんを応援しています。～

通勤用マイカー購入費用 および
通勤用マイカー購入時借入金の借換え費用にご利用いただけます。



ご利用いただける方

- 住所が勤務先が宮城県内にある中小企業等(※)にお勤めの方。
※「中小企業等」＝「従業員数300人以下」または「資本の額または出資の総額3億円以下」の企業・法人
- 原則満20歳以上で、勤続年数1年以上、前年の税込み年収が150万円以上の方。
- 当金庫の審査基準を満たされる方。

担保・保証

- 担保は不要です。原則として当金庫指定の保証機関をご利用いただきます。
- 別途保証料が必要になります。(年0.70%～年1.20%)

◆ご融資金利◆

年1.60%

(固定金利・保証料別)

◆ご融資金額◆

最高200万円

◆ご融資期間◆

最長7年以内

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※店頭でご希望にあわせて返済額の試算をいたします。 ※店頭で説明書をご用意しています。詳しくは宮城県内のろうきん窓口にお問い合わせください。

(2016年9月1日現在)



お問合せ・お申込みは＜東北ろうきん＞宮城県内の最寄りの店舗へ

東北労働金庫
宮城県本部

☎0120-1919-62 受付時間
平日午前9時～午後5時
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

杜の伝言板

ゆるる
に

広告を掲載してみませんか？

「スタッフ・職員を募集したい」「今後開催するイベントを告知したい」「これから始める事業を紹介したい」
など月刊杜の伝言板ゆるるのページを使ってPRしませんか？ ※月刊杜の伝言板ゆるるは、県域全体を対象に9,000部を発行しています。

サイズ(横×縦、単位:mm)	広告掲載金額	
50×180 掲載箇所 p.10、11、13、14、15	市民活動団体 (NPO法人含む)	10,000円
	上記以外 (企業、自治体など)	30,000円
100×180 掲載箇所:裏表紙	一律	50,000円

主な配布先

宮城県内のNPO支援施設、
仙台市内の市民センター・図書館、
各市町村社会福祉協議会、
宮城県の各地方振興事務所など

※上記金額は、広告原稿をご自身で制作された場合の料金です。

※ページの半分や、1ページ全ての広告掲載のご希望や料金については、杜の伝言板ゆるる事務局までお問合せください。